

招致決議・応援



北海道知事
高橋 はるみ

オリンピック・パラリンピックの開催は、世界のトップアスリートたちのひた向きなプレーを間近に観戦できることはもちろん、地域経済の活性化や観光客の増加、文化の振興、教育への貢献などその波及効果は計り知れず、各国のメディアを通じ、世界に向けて北海道の魅力をアピールする絶好の機会でもあります。

先日開催されたリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおける日本人選手が目覚ましい活躍に興奮冷めやらぬ中、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催準備が加速化しており、こうした動きを追い風に、今、北海道では、スポーツを核とした地域活性化の取組が急速に広まっています。

また、先頃、道内経済界や市町村などで構成される官民連携組織「北海道オリパラの会」や超党派の道議会議員の皆様による「北海道議会スポーツ振興議員連盟」が設立されるなど、オール北海道で招致する態勢が整ってきています。

道といたしましても、北海道・札幌での冬季オリンピック・パラリンピックの開催が世界の多くの人々に与える夢や感動を道民の皆様と共有し、関係団体とともに招致に向けた取組を応援してまいります。

札幌市議会、北海道議会は、オリンピック・パラリンピックの招致を決議しました。
また、関係自治体等からも応援をいただいております、今後も増えていくことが見込まれます。

2026年冬季オリンピックの札幌招致に関する決議

オリンピック及びパラリンピック競技大会は、世界中の人々の相互理解と友好親善を推進し、世界平和の実現に大きく寄与する世界最大のスポーツ・文化の祭典である。

オリンピック招致・開催の意義は大きく、本市は、アジア初となる1972年の冬季オリンピック開催を契機として一躍世界にその名を広め、本格的に国際都市・近代都市としての道を歩みはじめた。

近年においても、2002年のFIFAワールドカップをはじめとする数々の国際的イベントが開催され、2017年には3回目となる冬季アジア大会の開催を控えているなど、本市は、その実績からオリンピック開催の素地を十分に有するものである。

本年開催されたソチ大会における日本選手団の活躍が記憶に新しいところであるが、札幌でのオリンピックの開催は、市民に夢と誇りを生み、スポーツ振興や国際交流の促進はもとより、青少年の育成や地域の経済発展など、まちの魅力を新たな次元に高め、冬季スポーツをけん引する国際都市として、さらなる飛躍をするための絶好の機会である。

よって、本市議会は、国や北海道の支援、市民や経済界、関係機関の理解と協力のもと、2026年冬季オリンピック及びパラリンピック競技大会の札幌招致を目指す意思をここに表明する。

以上につき決議する。

平成26年（2014年）11月6日

札幌市議会

2026年冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の北海道招致に関する決議

オリンピック・パラリンピック競技大会は、スポーツを通じた人間育成と世界平和を究極の目的とした、世界の国と地域が参加するスポーツの祭典であるとともに、オリンピック憲章に基づき、スポーツを通じて日本と世界の人々が友情と相互理解を深めながら、スポーツを文化や教育、さらには環境と融合させる総合的なプロジェクトである。

本道にとっても、1972年の札幌冬季オリンピックから約半世紀を経た現在、2度目のオリンピック、そして本道初となるパラリンピックを開催することは、再び北海道民に夢と希望を与え、スポーツ振興や国際交流の促進はもとより、次世代を担う子どもたちの未来と障がい者が暮らしやすい社会の実現、誰もが相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の実現に向け大きく寄与するものである。

また、環境に優しい自然豊かな北海道の魅力を世界の人々にアピールする絶好の機会でもあり、世界各国から訪れる観光客の誘客や道産食材等のPR、スポーツ合宿の誘致など北海道全体の地域経済の活性化にとって極めて意義深いものである。

よって、北海道議会は、広く道民の皆様方の理解と協力のもと、2026年に開催される冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の北海道招致を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成28年7月7日

北海道議会

平成28年6月16日
平成28年6月23日
平成28年7月19日

倶知安町議会
二セコ町議会
指定都市市長会

(2016年10月15日現在)

招致決議・応援

■平成28年（2016年）5月27日に、冬季オリパラ招致を応援する国会議員の会が設立されました。

設立趣意書

わが国では、スポーツ推進のための基本的な法律として「スポーツ基本法」を定め、スポーツ立国の実現に向けた施策を進めております。その中でも、国際貢献・交流を推進し、スポーツを人類の調和のとれた発達に役立てるというオリンピックの根本原則に立ち、全国民が一丸となって、2020年夏季東京オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な開催に向けた取組みを進めているところであります。

その前後には、2017年冬季アジア大会、2019年ラグビーワールドカップ、2021年世界水泳選手権と、大規模国際大会が次々と開催されることが決定しており、この流れを途切らせることなく、いっそう推進していくことが、これからの新しい日本の創造と発展のためには必要不可欠であります。

こうした状況の中、2014年11月に、札幌市は2026年冬季オリンピック・パラリンピックの招致を表明しました。

当時アジア初の開催となった札幌・北海道で、半世紀の歳月を経てもう一度オリンピック・パラリンピックを開催することは、日本列島の北端に位置する北海道から日本全体を元気にさせる地方創生の起爆剤になりうるものであります。

以上を踏まえ、「北海道・札幌冬季オリンピック・パラリンピック招致を応援する国会議員の会」を結成するものであります。

賛同者

相原 久美子	荒井 聰
伊東 良孝	稲津 久
今津 寛	逢坂 誠二
小川 勝也	佐々木 隆博
佐藤 英道	鈴木 貴子
高木 宏壽	武部 新
伊達 忠一	徳永 エリ
中川 郁子	中村 裕之
橋本 聖子	長谷川 岳
鉢呂 吉雄	堀井 学
前田 一男	松木けんこう
横路 孝弘	横山 信一
吉川 貴盛	若松 謙維
和田 義明	渡辺 孝一

(50音順)

■私たちは、冬季オリンピック・パラリンピックの北海道・札幌招致を応援しています。

- ・ 冬季オリンピック・パラリンピック札幌招致期成会 会長 岩田 圭剛
- ・ 冬季オリンピック・パラリンピック競技団体連絡会議 会長 伊藤 義郎
- ・ 北海道オリパラの会 会長 堀 達也

■私たちも応援しています。

石狩町村会
 石狩町村議会議長会
 一般財団法人札幌アイスホッケー連盟
 一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団
 一般財団法人札幌市体育協会
 一般財団法人北海道アイスホッケー連盟
 一般財団法人北海道スケート連盟
 一般社団法人札幌カーリング協会
 一般社団法人札幌観光協会
 一般社団法人札幌建設業協会
 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会
 一般社団法人札幌ハイヤー協会
 一般社団法人日本ホテル協会北海道支部
 一般社団法人日本旅行業協会
 一般社団法人北海道建設業協会
 一般社団法人北海道商工会議所連合会
 一般社団法人北海道バス協会
 一般社団法人北海道ビルメンテナンス協会
 一般社団法人北海道ファシリティマネジメント協会
 江別商工会議所
 倶知安町
 公益財団法人札幌国際プラザ
 公益財団法人札幌スキー連盟
 公益財団法人パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会
 公益財団法人北海道結核予防会
 公益財団法人北海道スキー連盟
 公益財団法人北海道体育協会
 公益社団法人北海道観光振興機構
 公益社団法人北海道理学療法士会

札幌市商店街振興組合連合会
 札幌市内ホテル連絡協議会
 札幌商工会議所
 札幌スケート連盟
 札幌中小建設業協会
 札幌バイアスロン連盟
 札幌ホテル旅館協同組合
 札幌ボブスレー・スケルトン連盟
 札幌リ्यूージュ連盟
 新篠津村
 ニセコ町
 北海道カーリング協会
 北海道漁業協同組合連合会
 北海道経済同友会
 北海道経済連合会
 北海道索道協会
 北海道商工会連合会
 北海道商店街振興組合連合会
 北海道建具工業協同組合連合会
 北海道中小企業団体中央会
 北海道農業協同組合中央会
 北海道バイアスロン連盟
 北海道ボブスレー・スケルトン連盟
 北海道木材産業協同組合連合会
 北海道リ्यूージュ連盟
 2017冬季アジア札幌大会帯広開催、冬季オリンピック・パラリンピック札幌招致を応援する会

このほか、多数の企業・団体が応援しています。

(50音順)